

アドバイスレポート
(別添1)

日時：令和元年9月6日(金)

部署名：外来・滅菌室



使用する時は、日付の古い順に使用するよう注意喚起が明示されているのはよいですね。

滅菌物は保管中に埃や湿気を帯びないように、扉のついた棚に保管しましょう。

棚の上に物を置くと、取り出す時に埃が舞うので、棚の上に物は置かないようにしましょう。

使用途中の个人防护具は、滅菌物と離して配置してください。



濡れた手でペーパーを引き出す際に、ペーパーが汚染されない状況ですが、ナイロンの引出口に水滴が付着しやすいです。

ペーパーホルダーを設置してナイロン袋から出して使用しましょう。



洗浄液を継ぎ足して使用すると、微生物が繁殖します。「毎回空になったら洗浄→乾燥させる」または「小ボトルの商品で使い捨て」が望まれます。

洗浄用のスポンジが直置きになっていますが、微生物の繁殖防止のために、つり下げて乾燥させるように保管をお願いします。



滅菌物の下が未使用の医療廃棄容器の保管場所になっていますが、未使用であっても、この場所へ搬送するまでに不潔な手で外界の土壌に接触している不潔な物です。

滅菌物や医療材料とは別の場所で保管してください。



滅菌物の後ろにあるシンクの汚水槽が著しく汚れていました。清掃担当者に綺麗にしてもらいましょう。

このエリアにあるゴミ箱と感染性医療廃棄物容器は、廃棄する時に蓋を手で持つと不潔になります。足踏み式のゴミ箱などに変更が望まれます。



軟膏類がディスプレイとして使用されておりよかったです。

処置用の軟膏類の管理を確認できませんでした。処置用の軟膏類の管理方法を決め、管理できているかご確認下さい。



おしぼりタオル機が環境清拭用として活用されていました。

外来・入院と患者さんの手拭きとしてもご活用下さい。

手指消毒薬は、医師の手が届く場所（デスク）などに設置されているとよいですね。

部署名：病棟



エレベーターや廊下の手すり、ドアノブの清拭がされていませんでした。委託業者と相談して、誰が行うのか決めて下さい。



手指衛生剤を2種類設置し、職員が選択して使用できるようになっていました。また、オレンジ色の手指消毒薬はボトルに小分けし携帯して手指衛生が実践できるよう工夫されていました。ただし、オレンジ色の手指消毒薬はべたつくため苦手で、ピンク色の手指消毒薬を主に使用されているとのことでした。現在は多くの手指消毒薬が販売されているため、サンプル使用を行い職員に使用してもらえる消毒薬のご検討をお願いします。携帯用も小分けせず専用の手指消毒薬が購入できたらいいですね。



鍵は業務終了後、毎回石鹼で洗浄しているとのことでした。鍵も輝いており、このままこの対策を継続して下さい。精神科では手がよく触れる鍵の管理は感染対策上、重要なポイントになります。とても素晴らしかったです。



手指衛生の石鹼が2種類準備されていました。しかし、1種類はヨードが含有された石鹼で、こちらは手荒れを起こしている職員の手荒れが良くなるということで使用されていました。病棟では、ヨードを使用した流水と石鹼による手指衛生までは必要ないと考えます。現在は、手荒れ対策用の石鹼が販売されているため、石鹼のサンプル使用を行い、手荒れが予防できるようご検討下さい。



シンクが清潔用と不潔用で分けて使用されていました。
しかし、残念ながら白いカゴの中が、ピンク色の汚れがこびりついていました。これはセラチア菌が繁殖していると考えられます。
カゴも綺麗に洗浄してください。



他のシンクでは汚れが目立ちました。水回りには、医療関連感染の原因となる大腸菌や緑膿菌、セラチア、カビ類などが繁殖しています。
洗浄に使用するスポンジは使用後に乾燥を徹底し、シンクも1日1回は洗剤で洗浄し乾燥（ペーパータオルで拭きあげる等）させてください。
ペーパータオルの設置場所も低すぎます。シンク内の微生物を含んだ水飛沫でペーパータオルが汚染してしまいます。せっかく綺麗に手を洗っても汚染してしまいますので、水飛沫がかからない位置にペーパーホルダーを設置してください。



抑制帯は使用ごとに洗濯されていました。

これは弾カストッキングですが患者さんに使用する物は埃などで汚染しないよう保管しましょう。



危険物であることを明確に示すために、バイオハザードマークは正面に設置します。設置場所はラウンド時に確認させて頂いたため、ICTでご検討下さい。

感染性医療廃棄物容器に搬出した部署が記載されていました。廃棄物の責任を明確にすることは良いことです。

また、廃棄物は適切に分別されていました。





ミキシング台の下にゴミ箱があり、患者さんに使用した医療材料が入っていました。

ミキシング台の下にあるゴミ箱はミキシングに使用したゴミのみ入れる、また蓋があると手が汚染されるため、足踏み式のゴミ箱に変えましょう。



倉庫に内服薬、感染性廃棄物を入れる空の容器、抑制帯、弾力ストッキング、滅菌物、薬品用冷蔵庫、掃除道具などがありました。

清潔・不潔の視点から倉庫に保管するもの、倉庫内でどのように保管するか、清潔・不潔のスペースを分けて整理整頓して下さい。

床ぎりぎりに衛生材料（清潔に取り扱う物品）がありました。清潔な物は汚染を防ぐため床上 30 cm以上に設置しましょう。



棚の上に内服薬が保管されていました。埃がかかり汚染するため保管する場合、埃がかからないよう蓋つき容器などで保管しましょう。



薬品用冷蔵庫で、患者さんの薬を一人一人袋に入れて保管していました。この袋は使いまわしとのことでしたが、袋は使い捨てにしましょう。



体温計の整理保管に使用されていた紙箱の中が埃やシミ、髪の毛で汚れていました。患者さんに使用する物品の保管・整理に紙容器の使用は避けてください。湿気を帯びて、微生物の培地となります。

「洗える」または「アルコールで拭ける」素材の容器を選択してください。

体温計の外筒容器も水洗いでいいので、毎日洗浄してください。



上記と同様に、医療品の整理整頓の容器を紙箱ではなく、プラスチック製等に交換が望めます。



包交車には、創処置のガーゼなど医療品のほかに爪切りなどケア物品も一緒に入っていました。軟膏も開封後の使用期限の取り決めをして、すべてに開封日や有効期限を記載してください。

整理の区分けに使用している紙箱を、プラスチック製等に交換が望めます。埃がかぶらないようかけられている包布もいつ交換したのか不明な状態でした。布は排除して物品を引出などに入れて埃がかぶらないように整理整頓が望めます。

医療品が不潔になると院内感染の原因になります。



病棟への医療材料の補給搬送に、トラック輸送に使用された段ボールを再利用していました。このような段ボールには、外界の虫や虫卵、病原微生物が付着している可能性があるため、医療エリアに持ち込まないように、搬送専用の容器（プラスチック製箱など）へ変更が望めます。



防護具類は衛生的に保管されていました。

他の材料もこのように管理できたらいいですね。



シンクの下にペーパータオルがありました。シンクの下は湿気が溜まりやすくカビが生えやすい環境です。ペーパータオルなど衛生的に使用するものは防護具の棚などに配置するようにしましょう。



倉庫内のオムツ保管ですが、使用途中のオムツ（袋が開いたままの状態）が複数ありました。保管している環境が倉庫であること、オムツが埃で汚染することの2点から、オムツの袋を開けた場合は蓋つき容器に保管し、衛生的に管理できるようにしましょう。



オムツ（衛生材料）が床面ぎりぎりにありました。倉庫内を確認すると床面ぎりぎりに保管できる物、廃棄できる物などがあったため倉庫内全体の整理整頓を行い、衛生材料は床上 30 cm以上に保管できるようにしましょう。



トイレットペーパーが床置きとなっていました。直置きとにならないよう倉庫内の整理整頓をご検討下さい。



患者さんが来ないエリアとのことで、病棟内の洗面所にこのように色々なものが置かれていました。

このエリアに石鹼が置かれていたため、面会者や職員向けに流水と石鹼による手指衛生が行えるよう設置のご検討をお願いします。

また手袋などもあったため、防護具や環境クロスを設置し、職員が使用しやすいような環境調整をご検討下さい。



防護具やペーパータオルがこのように設置されていました。必要な物は購入して頂けるとのことだったため、ペーパーホルダー、防護具のラックを準備し必要な箇所に設置して下さい。



吐物処理セットが段ボール内に大量に入っていました。手袋などを探すのに手間がかかる、吐物などは袋がかけられた段ボールなどに入れて処理されるとのことでした。処理セットは1~2セット準備し、必要時にすぐに取り出せるよう調整をお願いします。
決めたことをマニュアル化しましょう。



吐物処理セットや次亜塩素酸ナトリウムなど吐物処理時に使用するものが棚にありました。吐物処理時に探さなくてもよいよう同じ場所にあるのは良いのですが、使用しやすいように整理整頓のご検討をお願いします。



尿瓶、尿器が消毒中でしたが容器全てが浸漬されていませんでした。消毒を行う場合は、外側の消毒も必要のため、バケツなどに浸漬させて消毒をしましょう。
この消毒方法は、マニュアル化するとよいかと思えます。



オムツ交換車について、使用後このように整理はされていますが、台車の取手の清拭がされていませんでした。オムツ交換時に手を介して取手が汚染されているため、使用後は清拭をお願いします。
オムツ交換車の管理方法を決め、マニュアル化するとよいかと思えます。



汚物処理室が大変狭いところで、洗濯機、掃除モップ、消毒中のカメがありました。汚水槽からの水飛沫が室内に飛び散り、不潔な環境です。個人防護具も確実に装着できるような配置ではないようでした。
洗濯機を排除して他の病棟と共有するなど、改善が望まれます。



清潔リネンは、埃がかぶらないように扉が付いて高い位置の棚で管理されていました。



義歯を看護師サイドで管理していますが、義歯毎に手袋の交換をしているか確認をお願いします。手袋を交換せずに、医療者側の汚染防止のみ行っているのであれば、患者間の交差感染の危険が高くなります。義歯の入れ物も接触しないように注意してください。



洗浄シンク横の木製の台が黒く、カビが発生しているようです。乾燥機の下に台は不要と思われます。木製のものは拭けませんし、水分を含みこのように微生物の温床となります。



洗剤類は全て空ボトルに補充する体制のようですが、補充依頼のボトルを置く定位置が床に置かれたカゴでした。台所洗剤もありましたが、床は土足で運ばれる外界の虫や微生物が混在する土が落ちているので大変不潔であり、定位置を高い場所に移動させるか、補充方法を事務部門と検討をしてください。